

パネリストのプロフィール



永浜 明子 さん

和歌山大学教育学部、筑波大学大学院を修了後、アメリカで障害者だけでなく、子どもや高齢者など様々な人がスポーツの楽しさを享受できるスポーツ「アダプテッドスポーツ」を学ぶ。その後、沖縄県立看護大学、大阪教育大学で教鞭をとり、現在、立命館大学スポーツ健康科学部准教授として、アダプテッドスポーツを専門に研究。

どんなことに対しても「同じが正しい」のではなく、「違うことが当然」という観点で、他者との関係を築くことのできる人を育てたいと、日々学生と向き合う。



木村 敬一 さん

滋賀県栗東市出身。2歳の時に先天性の病気のため視力を失い、母親の勧めで10歳の時に水泳を始める。滋賀県立盲学校小学部の卒業と同時に上京、入学した筑波大学附属盲学校で頭角を現す。

日本大学に進学、4年の時に出場したロンドンパラリンピックで「100m平泳ぎで銀メダル」「100mバタフライで銅メダル」を獲得。リオデジャネイロパラリンピックでは「50m自由形の銀メダル」「100mバタフライの銀メダル」をはじめ、4つのメダルを獲得。日本チームのエースとして活躍中。

東京ガス(株)所属。しがスポーツ大使。



北田 千尋 さん

和歌山県出身。仕事の関係で滋賀県湖南市に居住。先天的な足の障害と喘息の持病のため、幼い頃はスポーツとは無縁の生活を送る。

教員を志し、入学した大学で車いすバスケットに出逢い、本格的に競技を開始。その後、全日本女子選手権でMVPを獲得するなど、日本を代表する選手として活躍。4年後の東京パラリンピックを目指し、オーストラリアのリーグで武者修行中。

LINE(株)所属。しがスポーツ大使。



高橋 明 さん

1994年リレハンメルパラリンピック日本選手団総監督、2000年シドニーパラリンピック車いすバスケットボール全日本チーム総監督など、5回のパラリンピックで日本選手団の監督・コーチを歴任。長野、シドニー、アテネ、北京のパラリンピックで、開・閉会式のテレビ解説を務める。

現在は、NPO法人アダプテッドスポーツ・サポートセンターを設立し、高齢者や障害者のスポーツ振興と普及に向けて精力的に活動。「障害は社会が作っている」が持論。企業や学校への講演活動で全国的に活躍中。

大阪体育大学、芦屋大学で客員教授。



山本 博一 さん

地域スポーツの振興の一翼を担うスポーツ推進委員をけん引する会長として、また居住する野洲市では市体育協会の会長として、スポーツ振興、健康づくりに向けた活動に尽力。

野洲市では、総合型地域スポーツクラブが主体となり、スポーツ推進委員が障害者のスポーツ活動をサポートするなど、先進的な取組を展開。

自身も学生時代からバレーボールで活躍するスポーツマン。